

令和4年度 学校自己評価表(計画)

学 校 運 営 計 画			
学 校 運 営 方 針		「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」の精神の下、個性豊かな社会人の育成をめざし、全人的教育を推進するため、以下を実現するべく学校を運営する。 (1)主体的に学問を追究しようとする生徒を育てる学校 (2)佐渡から世界へと視野を広げる生徒を育てる学校 (3)佐渡の発展に貢献できる生徒を育てる学校 (4)生徒が安心して学び、生活することができる学校	
昨年度の成果と課題		年度の重点目標	具体的な目標(能力の育成) 具体的な取組(方策は各分掌で設定)
○ICT活用と授業改善について 電子黒板、タブレット、Googleアプリを活用したりリモート配信など、ICTの活用により主体的・対話的で深い学びを目指した授業力向上及び授業改善を進めることができた。 その結果、生徒の進路希望の達成において、国公立大学への進学者は36名、私立大への神学者84名、計120名が大学進学した。また、過年度卒業生ではあるが、医学部医学科進学者1名という大きな結果が見られた。 コロナ禍にあるものの、一人ひとりの生徒が粘り強く挑戦を続けられるよう、学年・担任・進路が連携しながら指導し、年度の重点目標に掲げた生徒を育てることができたと思われる。 引き続き生徒の進路希望の実現に向け、授業改善を学校全体で組織的に取り組んでいく。 ○学校不適應等の対応について 学校不適應等による転退学者は計13名であった。特に1年生は8名であり、初期の不適應を防ぐなどの課題を克服するため、特別支援教育推進体制の充実やスクールカウンセラーの活用等の教育相談の充実と教員の対応力向上を進めていく。 ○いじめの対応について 生徒指導においては、生徒の規範意識も向上し、大きな問題行動の発生はなかったが、いじめ認知を積極的に行ったこともあり、いじめ認知件数は10件あった。 重大事案に至る前に、個別面談やアンケートなどで生徒の悩み等を掘り上げ、いじめ見逃しゼロを目指した取組を続けていく。		(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施
		(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な学習の時間等におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステナビリティ学の実施
		(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加
		(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・総合的な探究の時間等における探究活動・職業講話の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立
		【今年度の目標】 ○いじめ見逃しゼロに向けたいじめ対策の推進といじめ対応マニュアルの適切な運用 ○新たな学習指導要領による教育の充実 ○国公立大学進学者の対卒業者数比率20%以上	
成 果		総合評価	